丸山湿原群保全の会会報

（第 137 号）

発行日：2018 年（H30）12 月 18 日　編集／発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211　宝塚市大原野字炭屋 1-1　西谷地区まちづくり協議会事務局内
TEL/Fax0797-91-1788
090 - 1895 - 8061（今住）
E-mail：maruyamashitugengun@gmail.com

師走を迎え慌ただしくなってまいりました。気候の方も慌ただしく変化しております。**12 月とは思えない暖かさ、かと思えば寒波襲来。科学的データからは気候変動（温暖化）と言い切れないそうですが、やはり温暖化は間違いないと思います。**

地質のセミナーの時のお話にもありましたが、地球の時間は人の時間で測れないもの。いよいよという時に対策をとっても、間に合わないのではないでしょうか？これも所詮ヒトの時間でのお話ですが･･･。

手塚治の漫画で、人類滅亡後にナメクジ（カタツムリ？）の支配する世界が描かれていたような（火の鳥？）。原因は気候変動ではなく AI だったかな。しかし、**私も人類。子孫のために生き延びる方法を考えなくてはいけないのではと思います。COP24 頑張れ！**

話が大きくなりました。身近なことからコツコツと、でしょうね。では、**よいお年を。エシカルに！フードロスにもご注意！そして、エシカルファッションで。このお話は紙面で。**

（今住　12 月 16 日作成）

定期活動　★11 月 25 日（日）第 1 湿原視点場下手ヌマガヤ・柴刈り　8 名の参加

第 1 湿原西側のササ刈りがほぼ終わり、そろそろヌマガヤ刈りに入ろうかと考えていましたが、**視点場（東側）から下手（南）の木本類が伸びたので、周囲のヌマガヤを含め柴刈りを行いました。**

視点場下手の刈り取り作業

この部分はイバラ類が多く、サギソウ開花数調査の時にも歩きにくかったところです。

水の滲みだしもあるので、刈り取ることで湿生植物も多く出てくるに違いありません。今年はミズトンボも出ていました。カキラン・サギソウ・ウメバチソウも増える（よく見える？）可能性が大きくなります。

12 月間近というのに、まだヒメアカネ（姫茜）が結構飛んでいました。動きが鈍くなっているのかそれとも人恋しいのか手にとまってきます。加えてウメバチソウ（梅鉢草）もまだちらほら。ミミカキグサ（類）も矮小化したものが見られました。霜に耐えるんか？とびっくり。水の中だから大丈夫なのか？自然は不思議がいっぱいです。理由を突き止めれば不思議ではなくなるが、また新たな不思議が出てくる。だから楽しい。知ったかで嘘ばっかり言ってますが…。

ウメバチソウ

人恋しそうなヒメアカネ

ホザキノミミカキグサ

いよいよ秋の植物の種が落ちる時期、ヌマガヤ刈りなどの作業がメインになります。人手があれば効率よく作業できます。ぜひご参加ください。臨時の活動も入れないと春になってしまうかもしれません。よろしくお願いします。

阪神北県民局との現地確認

★11 月 27 日（火）兵庫県北県民局との調整

丸山湿原群は「兵庫県天然記念物」です。しかも、土地の所有は兵庫県。直接の管理責任は県にあります。その管理の一部が「丸山湿原群保全の会」に委託されています。（予算処置あり…人件費には使えません。宝塚市からは講師料や消耗品をただいています。）会だけでは湿原外は手が回らないのが現状。その分を県民局が管理してくれます。視点場の設置や柵の付け替えもその一環です。

阪神北県民局の確認（第 2 湿原）

今年度は第２湿原の周囲の再萌芽部分。この２年間、「北摂里山を愛す会」と協働して作業した残りの部分です。主に視点場の北側正面。予算に余裕があれば、第１湿原の北側谷筋（水の滲み込みがあるところ２箇所）もお願いしました。

第 1 湿原の北側　谷筋

第 1 湿原の北側谷筋は、今まであまり手が付けられていません。かなり大きな木が残っていて、日陰になっています。日が当たることで面白いものが出てくる可能性大です。あくまで予算内に収まればの話です。乞うご期待！（視点場の反対側で見えないか？）

なお、「北摂里山を愛す会」との協働はまだ確定していませんが、今年も実現するならば第４湿原周囲の再萌芽処理をお願いしようと思っています。協働してくれるかな？して欲しいな～。

たからづか市民環境フォーラム

★12 月８日（土）宝塚市東公民館

活動日でしたが、「環境都市宝塚推進市民会議」主催のフォーラムで活動団体として発表。市民会議は環境にかかわる２５の団体が加盟。「丸山湿原群保全の会」も昨年から参加しています。宝塚市が強力にバックアップしてくれています。

右　西谷小学校発表者（右端は小林聖心中生）

環境教育に重きを置き、フォーラムでは毎年小学校３年生の環境学習成果発表を行っています。知らなかったのですが、今年で２７回目！単純に考えると 27 年目？あたりまえですか…。環境都市と名乗るだけのことはありますね。すごいぞ宝塚市！（ゴマすりに聞こえる方は心が素直です）そうそう小学校の発表です。今年はなんと西谷小学校（わが母校）と仁川小学校の２校。それぞれよくまとめられた発表でした。西谷小学校は「生物多様性～私たちの地域にある丸山湿原を通して～」と題し、一緒に学んだことを、スライドを使ってしっかりと発表していました。「生物多様性」という言葉を聞くとなんか難しそうですが、丸山湿原のような貧栄養の場所でしか生きられない生き物（食虫植物など）の危機（種の減少）、とか聞くとなるほどと感心してしまいました。人間社会にも応用できる内容。まさしく丸山湿原を通して学んだ内容です。しかも、まとめで「私たちにできること」として「丸山湿原を知ること」、「パパやママに丸山湿原のことを話す」、「丸山湿原は面白いと人に伝える」などと。まさしく相互理解の基本がここに含まれているではないですか！丸山湿原という言葉をぬくと、「知る・話す（考える）・伝える」コミュニケーションの基本。自然が教えてくれる共生社会。これが生物多様性の意味ではないでしょうか。ついつい話がでかくなります。とにかく素晴らしかった！

はっきりしっかりとした発表

発表を楽しむ辰巳さん

続いて、わが「丸山湿原群保全の会」の活動報告。今回は、辰巳さ

んに発表していただきました。こちらもスライドを用意し、位置の紹介に始まり活動内容を紹介。定期調査、ササ刈りなどの作業内容等を説明。セミナーやサギソウ、両生類調査についてもバッチリお話しいただきました。環境教育協力では、直前に発表した西谷小学校の児童が画像で登場。楽しそうな様子と学びの姿を紹介しました。辰巳さんは丸山湿原群のプレゼンデビュー。かなり緊張して始まる直前まで PC を使いリハーサル。時間が迫り「昼食は抜きですね」と話していたところ、姿が見えない！逃げたか？と思っていると、登壇発表されていました。しかも、時間調整で引き延ばしの要請をみごとにこなし…。行方不明の時間は１階の喫茶でサンドイッチセットをペロリと食べておられたそうです。なかなか…。私は昼食抜きでした。とにかくお疲れ様でした。今後発表の要請は辰巳までご連絡ください。

入念なリハーサル

さらにフォーラムねた。後半の部として記念講演がありました。今年はエシカルファッション・プランナーの鎌田安理紗さん。エシカル？語学に堪能な方はハハ～なるほど～なのかも知れませんが？？？でした。直訳すると「倫理的な」「道徳上」。すでに知っている方は笑われるかもしれませんが、少し年配（失礼かな）の方からすると、エシカル＋ファッションとなると…。「露出の少ない（清楚な）服装」とか「だらしなくない服装」に行きつきますよね。実はそうではなくフェアトレード中心のファッションを意味するそうです。

エシカルファッションとは？

鎌田安理紗さん自己紹介

現在、世界的な格安ブランドが大流行り。日本の某メーカーも含まれます。なぜあんなに安く服が作れるのか？ずいぶん前のことになりますが、日本の某メーカーができたとき、中国の農耕民の出稼ぎ者が日給８００円で働かされて、泣いていると話題になったことがあります。人件費が安いからと簡単に言えない日給でした。さらに低い人件費（フェアでない）を求めて格安ブランドはパキスタンなどで製品をつくっている現状。働いても、働いても生活は良くならないようです。しかも売れ残りの製品は廃棄処分。時には 50 パーセント近くの製品が。これでは仕事に誇りすら持てない。

そこでエシカル！格安ブランドの服を手当たり次第に買うのではなく、気にいった服などを長く使いませんか？という考え方。環境とのつながりは？もちろん廃棄の問題もありますが、貧困から生まれる環境破壊は想像がつくと思います。すべてエシカルというのはしんどいけれど、少しでもエシカルファッションに切り替えれば全体として大きな動きになるという講演と映画でした。その映画も大変インパクトがあるものでした。クリスマス、お正月も近い。フードロスも含めエシカルに。しかし、景気対策のためにお金はバンバン使いましょう！変な世の中や！なんか、政治的になってきましたのでこの辺で…。

定期活動

★12 月 9 日（日）　前日の振り替え定期調査（申し訳ない。勝手に行ってきました！）

いつもの時間より少し遅くなりました。

目的	市内	市外
丸山	22	5
ハイキング	6	9
その他	1	0

来場者数　計 43 人
（竹筒ポスト人数）

場所	時間	気温【水温】	電気伝導度（EC）	PH
入口	10：50	8.2℃		
視点場	11：25	7.5℃		5.8
第３湿原	11：10	【8.7℃】	48.1μS/cm	6.5
第１湿原	11：43	【8.9℃】	42.7μS/cm	6.5
第２湿原	12：00	【6.6℃】	48.1μS/cm	6.5

【丸山湿原の様子】

８日が本来の活動日だったのですが、フォーラム出席のため翌日に振り替えました。**告知せず活動したことを反省。**

さて、湿原はそろそろ冬枯れの季節。初雪も降り、静かになってきました。気温も 10℃を超えないようです。まず迎えてくれたのが、**入り口すぐの通路真ん中の石の上。ウ〇〇です。しかもかなり新鮮。とても目立つ石の上にしています。果実の消化が悪く、目立つところにしていることからテン（貂）と適当に判断。イタチ？キツネかな？しかし、なぜこんな目立つところにするのでしょうか？マーキング？不思議です。**研究する人は、持ち帰り水洗い。何を食べているか分析するそうです。糞虫を探すときもつかんで中を見ますが、好きな人にはたまらないのでしょうね。これも不思議だ！

すっかり冬の第 1 湿原

道ど真ん中石の上のウンコ

少し行くと、人気者だったツチアケビ（土木通）君。もはやただの枯れ枝に。よくぞ倒れずに立っているものだと感心します。実は鳥たちに運ばれたのでしょうか？地下のナラ菌は食いつくされたのでしょうか？**来年はどこで発芽するのか？毎年道近くで観察されてますが、こればかりは未知です。**

枯れたツチアケビ

ツルリンドウの実

竹筒ポストのカウントを済ませて、旧道を進むとクリスマスが近いよと**ツルリンドウ（蔓竜胆）の実**が迎えてくれました。あと**サルトリイバラ（猿捕茨）、ウメモドキ（梅擬）**などの赤い実がまだ確認できます。

湿原視点場の PH はやはり弱酸性（5.8）伝導度も測ってみましたが約 40。PH だけが違います。このあいだからの予想は当たっている？

視点場の PH 計 5.8

真っ白に枯れたミミカキグサ類

ミミカキグサ類もさすがにこの寒さには勝てないようで、真っ白に枯れていました。花は全て終わりのようです。代わりに**イノシシ（猪）**が足跡と鼻の跡を残していました。小型らしくあまり荒れていませんでした。**花の後に鼻とは気が利いています。来年は亥年（猪年）。猪突猛進して、湿原をぐちゃぐちゃにしないようにお願いします。**そんなことしたら食っちゃうぞ！おあとがよろしいようで、よいお年を。

猪の鼻後

そうそう今年最後のクリスマス活動。第 4 湿原観察台周囲の踏み固められたところを、原状回復しようと思います、よろしくお願いします。もし、人数に余裕のある場合は、第 2 湿原のササ刈り・ヌマガヤ刈りを同時進行で実施。無理かな？ その後、納会（茶話会）を行う予定です。納会だけでも是非ご出席を！場所は自然休養村センター？たぶん。

次回活動　**西谷小学校３学期の環境学習（作業体験）が２月 20 日（水）に決定しました。**

12 月 23 日（日）第 4 湿原観察台周囲原状回復作業　１月１２日（土）定期調査（作業かも）
１月 27 日（日）作業　２月９日（土）定期調査と作業　２月 24 日（日）作業